

山形県地域密着型サービス外部評価結果報告書

< 認知症対応型共同生活介護用 >

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

自己評価項目番号26 馴染みながらのサービス利用
自己評価項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援
については、小規模多機能型居宅介護事業所についてのみ記入

事業所番号	671700284
法人名	医療法人 敬愛会
事業所名	グループホームさくらんぼ
訪問調査日	平成 20 年 9 月 4 日
評価確定日	平成 20 年 10 月 25 日
評価機関名	特定非営利活動法人 エール・フォーユー

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約し記載します。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家 族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年10月21日

【評価実施概要】

事業所番号	671700284		
法人名	医療法人 敬愛会		
事業所名	グループホームさくらんぼ		
所在地 (電話番号)	東根市大字野田1924番地		(電話)0237-41-2828
評価機関名	特定非営利活動法人 エール・フォーユー		
所在地	山形市檀野前13-2		
訪問調査日	平成20年 9月 4日	評価確定日	平成20年10月25日

【情報提供票より】(平成20年 5月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 4 月 1 日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	36 人	常勤 27 人, 非常勤 9 人, 常勤換算	21.1 人

(2) 建物概要

建物形態	併設 / 単独	新築 / 改築
建物構造	準耐火鉄骨 造り 地上2階建て 階建ての 階 ~ 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	円
敷 金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	250 円	昼食 300 円
	夕食	300 円	おやつ 150 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(5月 1日現在)

利用者人数	27 名	男性 5 名	女性 22 名
要介護1	9 名	要介護2	8 名
要介護3	6 名	要介護4	2 名
要介護5	1 名	要支援2	1 名
年齢	平均 85.2 歳	最低 65 歳	最高 97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	北村山公立病院 県立河北病院
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

同一運営法人の介護老人保健施設に隣接されている、3ユニットのグループホームです。各館ごとの玄関で、共有空間もスペースが広く和室には掘りコタツがあり、それぞれに風情のある和風造りで、窓を開ければ田園風景と隣の小学校の子供たちの元気のいい声が気持ちよく響いてくる、のどかな場所に立地している。希望者には学習療法を取り入れ、ホーム内の委員会活動も細やかなヒューマンサービスに配慮し、利用者と職員の雰囲気は「和と輪」を大事にした居心地の良い家庭的な温かさが漂っているホームです。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題はありません。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員各々評価の意義を理解し、職員全員で自己評価を行い、気づきを大切に意識の向上を図っている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	メンバー構成等も市と関わりを持ちながら、地区区長、家族代表、利用者代表、ホーム職員となっており、2ヶ月に1回開催している。テーマとは別に雑談から生まれる意見、要望も出ることもあり、双方向的な話し合い、対話を大事にしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	苦情相談窓口担当者も明記されており、玄関には意見箱を設置している。年に一度ホーム独自のアンケートを実施し意見を聞く機会を設け、結果をホーム内に掲示している。家族等の来訪には何でも言ってもらえるよう、雰囲気作りに留意している。出された意見等はサービスに反映させていくよう取組んでいる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の行事や小学校の運動会等に参加し地域の人との交流に努めている。地域住民、小学校からは収穫した農産物の差し入れもあり、地域の一員として馴染みの関係が出来ている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域社会に密着して暮らせるよう、家庭的な環境を大切にしたホーム独自の理念を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関に理念を掲示しており、定期的会議の中で話し合いを行い、新人研修の時は理念の説明をしている。職員の行動や施設内の雰囲気からも理念の周知が感じられる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事や小学校の運動会等に参加し地域の人との交流に努めている。地域住民、小学校からは収穫した農産物等の差し入れもあり、地域の一員として馴染みの関係が出来ている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員各々評価の意義を理解し、職員全員で自己評価を行い、気づきを大切に意識の向上を図っている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	メンバー構成等も市との関わりを持ちながら地区区長、家族代表、利用者代表、ホーム職員となっており、2ヶ月に1回開催している。テーマとは別に雑談の中から生まれる要望等も出ることもあり、双方向的な話し合い、対話を大事にしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	施設長が市の地域包括支援センター、介護認定審査会の委員を務めており、常に連携がとられており、人と人との繋がりを大事にしサービスの質の向上に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	日々のホームでの生活・健康面、金銭管理等の状況を来訪時に提供している。又、家族からの要望等もあり、ホーム内の生活の様子を3ヶ月に一度写真を載せた「さくらんぼだより」を発行している。月一度の請求書は来訪してもらい顔が見える関係作りに取組まれている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口担当者も明記されており、玄関には意見箱を設置している。年に一度、ホーム独自のアンケートを実施し意見等を聞く機会を設け、結果をホーム内に掲示している。家族等の来訪時には何でも言ってもらえるよう、雰囲気作りに留意し、出された意見等はサービスに反映させていくよう取組んでいる。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの職員による支援が受けられるように配置異動を行い、職員が交代する場合でも、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者に戸惑い、不安を与えないよう、ユニットの雰囲気や崩さないように留意し、馴染みの関係を大切にしている。又、施設長は職場の人間関係にも気を配り、働きやすい環境作りに配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修の他、ホーム独自の月別年間計画を立てている。さらに各種委員会を設け、サービスの改善や質の向上に努め、自己研鑽を高めている。研修報告書も提出し、月1回の全体会で報告をしている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会主催の研修会等に参加し、定期的な研修や交換実習を行い、相互交流によりサービスの向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	【小規模多機能型居宅介護のみ】 馴染みながらのサービス 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者がこれまでに培ってきた、一番輝いた時の得意分野をコミュニケーションの中から引き出し、出来ることは積極的に参加してもらい、ホーム全体が家族として共に支えあう関係を築いている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所時の情報を元に、日々の関わりの中で言葉や態度、表情、筆談等のコミュニケーションに工夫をし、座ってゆっくり会話をすることに心がけ、本人の思いや希望等の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	定期的にサービス担当者会議を開催し、本人や家族の思いを取り入れながら作成されている。プランに対する「実施結果一覧表」を毎日チェックし、スタッフ全員で関わり介護計画の作成に活かしている。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月、6ヶ月と介護計画の見直しを定期的に行っている。又、利用者や家族の状態や希望の変化が生じた場合は、必要に応じて現状に即した計画の見直しをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	【小規模多機能型居宅介護のみ】 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、 事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をして いる			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医 と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受け られるように支援している	事業所の協力医の他、本人や家族が希望する医療機 関で受診できるようにしている。また、法人の医療機関 による定期的な往診も行なわれており、複数の医療機 関と関係を結んでいる。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、でき るだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかり つけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有 している	利用契約時、家族へ「重度化した場合に於ける対応の 指針」について書面で説明し、同意をもらっている。日 常の急変時に対応できるよう情報、方針等を共有し対 応している。		今後、利用者、家族等の大きな関心、不安の一つは重度 化した場合の対応のあり方です。協力医や法人の医療機 関と連携を図りながら、さらなる知識・技術の習得への取り 組みを期待されます。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言 葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをし ていない	押しつけるのではなく、さりげない温かい目線で利用者 の尊厳を守ることを共有し、新人研修時にはプライバ シーの取り組みについて説明をしている。プライバシ ーの保護に関する誓約書を提出している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切に、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活リズムに添い、本人の希望とペースを 優先に、個人を大事にした支援を心がけている。就寝 前等に空腹を訴える人にはおにぎりを供したり、お酒 等も量と時間を制限し許可している。		一日の流れの中で、日の長い夏季と日の短い冬季での生 活のリズムを柔軟に変え、夕食の時間等も年間を通し同じ 流れではなく、季節に合わせ変化をもたれることを期待さ れます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理、配膳、後片付けなど利用者の力を生かしながら職員と一緒に進んでいる。職員と利用者が同じテーブルを囲み食事中のコミュニケーションを大事にしながら楽しく食事をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴時間帯を決めているが、希望に合わせた柔軟な支援を行っている。入浴を拒む人には声がけのタイミングをはかり、一人ひとりに合わせた促しを行い入浴を楽しめるよう工夫している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴等を参考に本人が楽しんでもらえるものを把握し、マンネリ化しないよう器用さを表現できるものに挑戦したり利用者の活力や楽しみごとの場面を作り出せるように支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	田園地帯に囲まれ、近隣には小学校、保育園等があり環境に恵まれている。散歩、買物、外食等を日常的に行なうと共に季節を楽しむドライブ等の外出も取り入れている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら鍵をかけないで安全に過ごせるような工夫に取り組んでいる。	玄関には安全の為、センサータイムを設置しているが日中は施錠はしていない。一人ひとりの外出傾向の察知に留意し、職員がさりげなく見守りを行なっている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の避難訓練は消防署の協力を得ながら、夜間を想定した訓練や避難誘導、消火器の取り扱い等の訓練を地域の代表の参加を得ながら実施をしている。また、ホーム独自の防災等の危機管理学習を行なっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日、個人の食事・水分の摂取量をチェックし、栄養バランス、水分量の把握に努めている。お茶2杯等の声かけ等を行いトロミやゼリーなど個別に対応し水分補給に配慮している。法人内の管理栄養士の専門的アドバイスと栄養委員会に参加し情報を共有し支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペースのリビング等は採光も優しく、ゆったりと広々としている。におい・汚れ点検を週1回行い、家庭的な雰囲気を壊さないよう装飾等にも配慮し、温かい雰囲気作りに工夫している。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室入り口には居室ごとに色分けされたのれんが下げられており、ベット、箆笥、収納スペース等が確保されている。写真や使い慣れた馴染みのものを持ち込み居心地良く、くつろげるよう工夫、配慮している。		